

# 市の政おおの

57. 9. 1

No. 368



“こりや 難しいナー”

お年寄りのスポーツ大会

市老人クラブ連合会（永森孝治会長）の第8回スポーツ大会が8月22日、上庄小学校体育館で開かれ、各地区のクラブ員をはじめ聖和園・和光園・一乗ハイツのお年寄りなど約

400人が参加。

「あけましておめでとう」「ピンころがしリレー」「パン食い競争」「かご運びリレー」など、ユーモアたっぷりの趣向を凝らした競技に会場は熱

気がいっぱい。

“頑張って。”“しっかりー。”“早よ、早よ。”と館内に飛び交う声援に選手たちもハッスル。炎暑も何のその、さわやかな汗の1日。

# お年寄りたちは今……

●●● 15日は敬老の日 ●●●



現在、わが国の老年人口（65歳以上）は1,000万人を超え、総人口の9%を占めています。この割合は今後ますます高まるものとみられ、33年後の昭和90年には20%を超えることが予想されています。9月15日は敬老の日、そしてこの日から1週間は老人福祉週間です。お年寄りにかかわる問題について考えてみましょう。

## 近づく高齢化社会

戦後、私たちの平均寿命は大幅に伸びており、いまでは「人生70年」はごく普通のことになりました。

男性74歳、女性79歳——これが現

大野市の老年人口の推移

年 区分	昭和45	50	55
老年人口 (65歳以上)	4,246	4,767	5,353
総人口	42,241	41,918	41,901
比 率 (%)	10.1	11.4	12.8

国勢調査による資料

在の日本人の平均寿命です。

老年人口も急速に増えており、今後もさらに増えることが予想されます。30年前の昭和25年には、老年人口416万人で、総人口に占める比率は4.9%でした。今日では老年人口で約2.5倍、比率でも約2倍に増えています。この傾向はなお続くものとみられ、昭和90年には5人に1人がお年寄りと推計されています。

当市の人口の推移は表のとおりです。出生率の低下や若い人の市外流出などの傾向もあり、老年化は国よりも速いテンポで進んでいます。

高齢化社会は文字どおり「かけ足」でやってこようとしています。

働く能力と意欲を持つ高齢者の雇用問題をはじめ、長くなった老後の

生きがい対策や地域社会への参加など、私たちは多様な対応を求められているのです。

よき老後とは「まず健康で、暮らしに困らず、グチを言わなくてすむ生きがいのある生活が送れること」と、だれもが答えるでしょう。

衣・食・住だけでなく、医・職それに生きがい保証された暮らしこそ、よき老後ということになります。

経済面での安定と丈夫な体、そして生きがい——お年寄りの自立にはこの3つが不可欠です。

昭和90年に65歳になる人は、現在働き盛りの32歳です。高齢者問題は若い人たちも、やがて直面しなければならないことであり、また社会全体の課題でもあるのです。

## グリーンの会

### ひとり暮らしを励ます

「ひとり暮らしのお年寄りとの触れ合い、を活動の合言葉に、グリーンの会が発足したのは48年です。

現在、市内にはいろいろな事情でひとりで暮らしているお年寄りがおよそ140人。施設に入っている人に比べ、社会的・経済的に不安定な生活をしている人が大半です。そんなお年寄りを励まし、温かい交流を持つと、会員たちは熱心に活動を続けています。

家庭訪問や日帰り旅行・もちつき

後の若い人を中心に10人です。

会長の坂本宗久さん（牛ヶ原24歳）は「最初のころは怪しげなセールスマンと間違われたりしたというエピソードもありますが、今ではみんな歓迎してくれます。以前、旅行のあと生きていて良かったというお礼の手紙をもらったときは本当にうれしかったですね」と、思い出を語ります。

昨年からは、お年寄りの自立

大会などを行っているほか、会報も定期的に発行し、とても喜ばれています。

会員は、20歳前

を目指した活動に力を入れています。

「ひとりで暮らすことは、病気や食事の心配など不安な要素が多いです。地域社会でバックアップしていくことが大切だと思います。関心のある方は、ぜひ連絡してほしいです」と、熱を込めて話していました。



活動を話し合う会員

# 人生に定年なし

社会の一員として働き続け、いわゆる老齢期というものを迎えた人たち。自らの努力で生きがいを見つけ、明るく過ごしている人もたくさんいます。『人生に定年なし』と、仕事や趣味スポーツなどに活躍している元気なお年寄りの中から、二人に登場してもらいました。



友達や知り合いの人にも声を掛けるところ、あちこちに愛好者が増え静かなブームを呼んでいます。

ある家庭では、おばあちゃんの影響を受けて、お孫さんも一緒に練習しているそうです。公民館で、講座

## 大正琴に 魅せられて

松浦 ふみ子さん (佐開 68歳)

「ひとりで手軽に楽しく弾けますし、優しい音色がたまらない魅力なんですヨ」と松浦さん。

大正琴との出会いは子供のころですが、実際にたしなむようになったのは3年前。新聞で楽しそうに励んでいる人を見つけ、早速、連絡をとったのが切っ掛けです。

「左手でキーを押さえ、右手で弦を弾きます。演歌・民謡など70曲くらい演奏できます。新しい曲を覚えるのは楽しみです。今では生活の一部になっています」と、にっこり。

として取り上げられている地区もあります。

「大正琴を通じて、いろんな人と温かい交流ができるようになりました。体のためにもいいですね。私たち年寄りの敵は孤独だと思います。ささやかでも、何か目標を持つとともに、自分に適した生きがいを見つけることが大切ではないでしょうか」と、話していました。

## 「まだ、これからですヨ」

御堂河内 四市さん (塚原 78歳)

御堂河内さんは、38年に新聞記者を定年退職しました。そのとき「まだ59歳。これからは自分個人の生活を楽もう」と考え、以来、第二の人生を意欲的に過ごしています。

知識欲はますます盛んで、読書は毎日欠かしません。県民大学の講座や市の健康大学などに参加するかわら、文字がうまくなりたいと一念発起し、書道にも取り組んでいます。

51~53年には、大学の通信教育に学び、宗教学を専攻。スクーリングや卒業論文をこなして74歳でみごとに修了したときは、テレビでも紹介

されました。

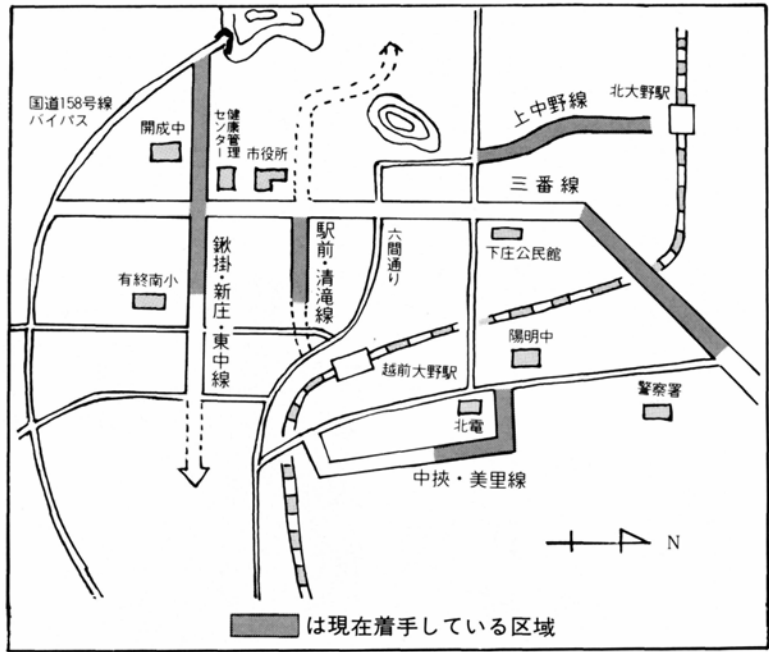
先月開かれた「富田夏まつり」ではカラオケ大会に参加。若い人に交じって自慢のノドを披露し、大きな拍手を受けていました。

「老化防止には頭をつかうことが大切です。いつも、まだこれからだという意気込みでいます。「長生きすれば恥多し。なんていうのは誤りだと思います。生きれば、生きただけ得るものがあるはず。私は、やる気・忍耐・努力の3つを座右の銘にして頑張っています」と、元気よく話していました。



# 着々と進む街路の整備

## 都市機能の骨格



都市計画街路は、快適で豊かな社会生活を営む上で欠くことのできない、都市機能の骨格となる施設です。

これができることによって、沿道の土地利用を高め、その交通需要をさばくなど多くの利点が生れます。

市は長期的展望に立った街路整備計画に基づき、重要幹線街路の整備に力を入れています。現在着手している街路事業のあらましを紹介しましょう。

### 駅前・清滝線

全体計画では、国鉄駅前南側から大野保健所横を通り清滝に達する街路です。

当面は春日通り～旧有終南小学校前の410mの改良に力を入れます。

今年度は測量・設計と実施計画を進めます。

幅員は12mで、9mの車道と両側に1.5mの歩道が設けられます。

### 中挟・美里線

56年2月から始まった北部第二土地画整理事業区域の幹線となる街

路です。

駅前第二土地画整理事業で既に延長約700mが供用されていますがさらに北側へ900m延ばして、国道157号線とつなぎます。

昨年度は4,600万円、物件移転と延長200mの築造を行いました。

今年度は7,000万円をかけ、残る700mを築造します。幅員は12mで両側には2.5mの歩道が設けられます。来年度以降は舗装に着手し、59年度には開通する予定です。

### 三番線

中野～中津川（国道157号線との交差点）間984mの改良は、50年度から進めています。

主に京福電車の廃線跡地を利用して、幅員12～16mに拡幅しています。

既に中野寄り284mの改良と中野橋の架け替えが終わっています。

今年度は1億3,770万円をかけ、残る700mに着手します。幅員は16mで9mの車道を挟んで自転車道兼歩道4.5mと歩道2.5mが設けられます。

来年度は、現在ネックとなっている市役所の横の部分、約270mを改良する予定です。

### 鍛掛・新庄・東中線

56年度から着手しています。市街地の南部を東西に貫く大幹線となります。これまで、六間・東中線から国道158号線バイパスに至るまでの区域には東西に走る幹線道路がなく早期建設が望まれていました。

延長1,300m、幅員16mで9mの車道と両側に植樹帯を挟んで2.5mの歩道が設けられます。総事業費は10億5,000万円が見込まれており、60年度完成の予定です。

56年度は用地費などに2,400万円を使いました。今年度は2億1,000万円をかけ、物件移転と鍛掛～赤根川間200mの道路築造を行います。

### 上中野線

53年度から着手。水落町～北大野駅を南北につなぎます。

延長838m。幅員は12mで7mの車道と両側に2.5mの歩道が設けられます。

これまでに用地買収や物件移転に1億2,600万円が投じられています。

今年度も引き続き5,700万円をかけ、物件移転などを進めます。

# 統合校舎の建設、順調

## 敷地はこれまでの倍に

### 上庄小学校

6月から始まった上庄小学校の改築工事は順調に進んでいます。

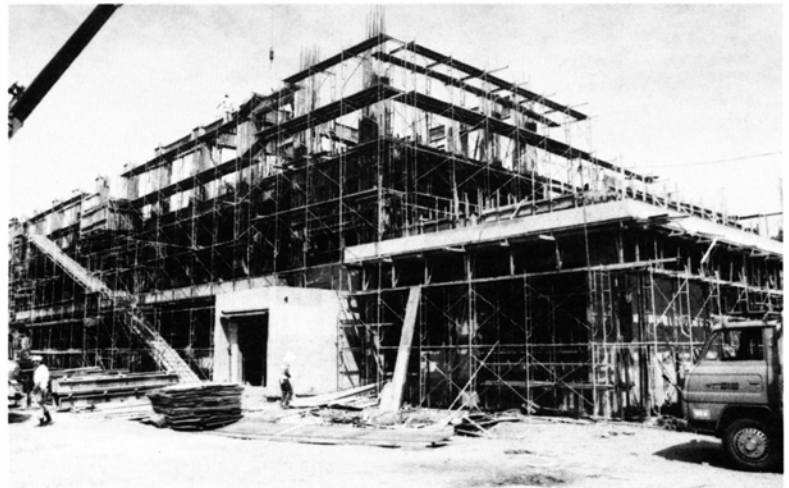
現在の校舎は昭和8年に建てられたもので、最近老朽化が目立つとともに手狭になっていました。

新校舎は、現在地から約300m北側に移転します。敷地は2万7,710平方mあり、これまでの2倍の広さになっています。

改築に伴い、吉・木本の両分校は来春から本校に統合されます。

総工事費は5億3,785万円で、来年3月末に完成の予定です。

管理棟と特別教室棟は、鉄筋コンクリート3階建て延べ1,869平方mです。職員室・保健室・用務員室・



2階までのコンクリート打ちが終わった校舎

放送室などのほか、図工・音楽・理科・図書・家庭・視聴覚の各教室と児童会室が設けられます。

普通教室棟も3階建て延べ1,748平方mで、13の普通教室が設けられます。そのほか、平屋建て100平方mの給食室棟も建てられています。

一方、グラウンドは敷地の南側に

造成されます。約1万1,000平方mあり、一周200mのトラックがとれます。

来年度は、引き続き校舎の西隣に体育館を建設します。鉄筋コンクリート平屋建て1,200平方mです。その後は敷地の最も西寄りにプールを建設する予定です。

### 子供会育成会

相互の交流図る

## 連合会が発足

青少年の非行問題がクローズアップされている折、地域ごとの子供会育成会を組織化して全市的に対応し

ていこうと「市子供会育成連合会、(松田元弥会長)がこのほど発足しました。

市内には現在100以上の子供会があり、小・中学生ら3,000人余りが参加していますが、これまでは個々の育成会の指導で活動している状況で、相互の交流はあまりありませんでした。

今後は会員間の連絡を密にするとともに、研修会などを開いて広域的な取り組みを進めていきます。

具体的な事業としては①子供会と育成会充実のための研修②子供会などの行事の共同開催③子供会育成に関する研修④青少年関係団体との連絡調整⑤会員相互の連絡調整——などを計画しています。

### 第199回臨時市議会

#### 教育委員に日下氏

第199回臨時市議会が8月12日開かれ「教育委員会委員の任命」「市有建物の処分」の2議案を審議し、原案どおり同意・可決しました。

玉村正弥氏の辞職に伴う教育委員会委員に、日下賢勝氏(庄林、60歳)が選ばれました。

不用となった旧有終南小学校舎木造かわらぶき2階建て延べ1,457平方mを、有償で処分することになりました。

越美北線を守るため

利用者への助成金

この制度をご存じですか

市では越美北線の利用者を増やして存続させようと、4月から「利用者助成制度」を設けました。このほどまとめた4～7月の4カ月間の利用状況を見ますと、助成額は当初の予想を上回ってはいるものの、せっかくのこの制度をまだよく知らない人や感違いをしている人がありますので、いま一度ご紹介しましょう。

存続には利用者増が大きな決め手に

越美北線を存続させ、本数を増やしたり、利用しやすいダイヤにするためには、利用者数と収入額の増加が大きな決め手になります。

この4カ月間の助成金の交付状況は表1のとおりです。

団体（15人以上の利用の場合）が26件、回数券購入が376件になっており、助成額は74万2,200円になっています。

助成額を見る限りでは順調に伸びているように思われますが、越前大野駅では「例年この時期はキャンプや野外活動のシーズンを迎えるため

表1 助成金の交付状況 (4月～7月)

月別	団体		回数券		助成額計
	件数	助成額	件数	助成額	
4月	—	— <sup>円</sup>	90	112,900 <sup>円</sup>	112,900 <sup>円</sup>
5月	8	55,845	84	105,380	161,225
6月	5	38,995	104	160,980	199,975
7月	13	138,380	98	129,720	268,100
計	26	233,220	376	508,980	742,200

利用者が多くなるもので、特に今年は利用者が増えているのではない」と話しています。

有利な助成制度を利用して輸送密度を上げることは、大事な課題なのです。

回数券の場合は最終券片が必要

せっかくのこの助成制度もまだ知らない人や、感違いをしている人が多く見受けられます。

制度のあらましは表2のとおりですが、助成されるのは越前大野駅で回数券や団体乗車券を買った場合のみです。

回数券は11枚つづりになっています

すが助成金の申請には最終券片（11枚目）が残っている券が必要です。

団体利用の場合は越前大野駅に備えてある「助成金交付申請書兼請求書」に駅の証明を受けることが必要ですから、間違いのないようにしてください。

なお、団体乗車券は利用日の6カ月前から購入でき、遅くとも14日前までには大野駅へ申し込んでいただくことになっています。

詳しくは商工観光課（6-1111内線292）へ問い合わせください。

表2 利用助成制度のあらまし

どんな人が	①大野市民または市長が適当と認めた人が ②越前大野駅で購入した場合に	
どんな時に	15人以上の団体(グループ)による利用の場合	回数券(11枚つづり)の購入による利用の場合
助成額は	越美北線利用区間の半額	越美北線利用区間の2割の額
申請方法は	駅で利用証明を受けた「申請書兼請求書」を提出。印鑑が必要	最終券片(11枚目)が残っている回数券を持参。印鑑が必要
申請先は	市役所商工観光課	
いつまでに	申請の期限はありません	
助成金の交付	申請のときにお渡します	

しのびよる覚せい剤

# 家庭や職場に浸透

## 身も心もボロボロに

覚せい剤——一度手を出したらズルズルと泥沼にぬめり込むように引き込まれてしまい身も心もボロボロに虫ばまれてしまう実に恐ろしい薬物です。その被害は善良な人々を巻き込みながら年々増え続けています。10・11月は「麻薬・覚せい剤禍撲滅運動月間」です。この機会に覚せい剤について考えてみましょう。



シナーや覚せい剤は急速に低年齢層へしのびよっている

### 検挙者は年々増加

#### 10年間に4.7倍にも

覚せい剤の使用者は、昭和45年ころから増加の一途をたどり、56年中に覚せい剤事犯で検挙された人数は実に2万2,000人を超え、前年に比べ10.5%も増えています。

特に最近では青少年層や婦人層にまで広がって、家庭や職場にまで深く浸透してきています。

覚せい剤は使用者自身の健康を害し、経済的破たんをきたすばかりでなく失職・離婚・家庭崩壊などの悲劇をもたらします。

さらに、妄想や幻覚等の中毒症状

表1 全国と県内の年代別検挙者数

年代別	55		56	
	全 国	福 井 県	全 国	福 井 県
19歳以下	2,047 <sup>人</sup>	2 <sup>人</sup>	2,591 <sup>人</sup>	0 <sup>人</sup>
20～29歳	6,294	13	6,812	14
30～39歳	7,648	36	8,189	41
40～49歳	3,514	15	3,927	17
50歳以上	697	3	812	3
計	20,200	69	22,331	75

のため、殺人・放火・強盗などの犯罪につながり、大きな社会問題になっています。

過去10年間の覚せい剤事犯の検挙者の推移を見ると、全国で昭和47年が4,777人であったのに対し、56年には2万2,331人となっており、実に4.7倍の伸びになっています。

55・56年の福井県内と全国の検挙者数を年代別に示したのが表1です。

### シナー使用者

## 急速に低年齢層へ

また、昨年1年間にシナー使用で検挙・補導された少年は全国で4万3,536人で、そのうち23人が乱用死や自殺をしています。

しかも、覚せい剤使用少年の70%近くはシナー使用の経験を持っているといわれており、シナーから覚せい剤に引き込まれるケースが非常に高いのです。

特に年々低年齢

表2 昨年1年間に全国で検挙・補導された少年

学生・生徒	中 学 生	7,568人
	高 校 生	6,792
	その他学生	1,083
	計	15,443
一般少年	有 職 少 年	16,401
	無 職 少 年	11,692
	計	28,093
総 計		43,536

化の傾向がありますが、昨年については中学生が高校生を上回ってしまいました。

県内では1昨年が189人であったのに対し、昨年は278人で、47.1%もの増加率になっています。

この率は全国で3番目という大変不名誉なものです。

青少年のシナー遊びは市内でも発生しています。決して遠い所の出来事ではありません。

最初はちょっとした好奇心から始めるのがほとんどですが、そのうちだんだん病みつきになり、悪質になっていきます。

次代を担う青少年を巻き添えにしないよう、みんなが注意しましょう。

おおの  
城まつり

四中学校合同による吹奏楽演奏会



六間通りでの「おおのおどり」。(8月15日)



### まちに咲いた 踊りの輪

第十五回おおの城まつりが八月一  
十六日開かれ、盛況のうちに幕を  
閉じました。

期間中は土井家入封三百年展や市  
美術展、弓道・剣道・居合道大会、  
茶会などの協賛行事をはじめ、十五  
日には四中学校による吹奏楽パレ  
ードと演奏会、太鼓流し打ちなどが行  
われ祭りのムードを盛り上げました。

祭りの中心である「おおのおどり」  
は八日から始まったものの、不順な  
天候のため一部中止になりましたが、  
十五日には約三万人が六間大通りに  
繰り出しにぎわいました。

特に今年は大野藩主土井利房が入  
封して満三百年に当たり、これを記  
念して十三、十六日の四日間、城で  
土井家什器と利房に関する文書など  
四十八点が初めて公開されました。

什器類の主なものを紹介しまし  
う。

土井家入封三百年展から

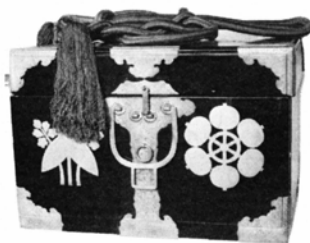
▼御駕籠



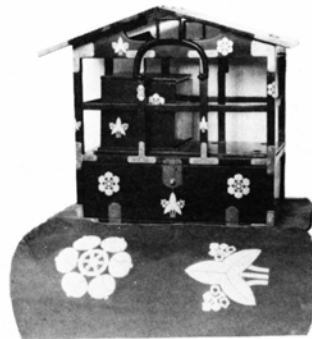
▼御軍扇



▼御紋散御挟箱



▲御茶弁当



▼桜蒔絵長御文箱



▼梨子地御紋付阿古多香炉





健康メモ

# 平均寿命は延びたが 意外に多い薬づけ

9月15日は敬老の日です。今月は「お年寄りの健康。についてお話ししましょう。

ご存じのとおり日本のお年寄りは年々増え続けるとともに、平均寿命も順調に延びて現在では男性73.79歳、女性79.13歳となり、世界のトップグループに入っています。

当市においても老年人口（65歳以上）は全人口の12.7%（57年1月）を占め、お年寄りの多い地域となりました。

このように、長生きできるようになったのは大変喜ばしいことですが反面、お年寄りの有病率は上昇し、医者通いや薬づけの半病人が増え、本当に健康なお年寄りは意外に少ないことも事実なのです。

## イライラなくして 気楽に暮らそう

健やかに年を重ね、長生きするためのコツを知っておきましょう。

- まず①物事にこだわらず気楽に暮らす②簡単な役割のある仕事を持つ③常に血圧の管理に気を配り、動脈硬化の防止に努める④動脈硬化を防ぐため、たばこはなるべく控える⑤



食事は時間をかけてよくかんで食べる。肉・魚・卵などのタンパク質や旬の野菜など1日30種以上をとるようにする——などです。



適度な体操も大切なこと

## 定期検査は 健康の出発点

お年寄りになると長年の生活経験から変えがたい頑固な自信と習慣がでてきます。寝たきりにはなりたくないという願いとうらはらに、病気の子防や健康管理の面が軽視され、また、発病してから医者に診てもらおうといった、はがゆい例がしばしば

あります。

医学はどんどん進歩し、予防法もずいぶん変わってきています。若者の言うことも受け入れるという柔軟な心を持ち続けることも、健康で長生きするための1つの方法です。

老化現象には個人差があります。遅くても40歳になったら毎年体の定期点検を受けて、異状がないかチェックしていくことが健やかに老いることの出発点であるといえます。

保健センター 尾嶋保健婦

## 理解を深めるため

国では、救急医療や救急業務に対し正しい理解と認識を深めてもらおう——と、今年から9月9日を「救急の日」とし、今月の5～11日を「救急医療週間」と決めました。

県内には休日や夜間などの事故によるけが人や急病人を受け入れるため、それぞれの医師会や病院の協力を得て次のような救急医療体制が整備されています。

## 初期救急医療

初期救急医療は、日曜や祝日など休日の昼間の救急患者を受け入れるための制度です。

重症患者については応急処置を行い、2次救急病院へ転送することになっています。

当市では市医師会の協力を得て、この4月から休日急患診療所を開設しています。

## 2次救急医療

2次救急医療は、初期救急の診療所から専門治療が必要であるとして転送されてきた救急重症患者を受け入れるためのものです。

今のところ嶺北地区では県立病院をはじめ、福井赤十字病院・福井県済生会病院・国立鯖江病院の4病院が、それぞれ当番日を決めて休日の昼間と夜間診療を輪番制で受け持っています。

9月9日は救急の日



### 市職員の採用試験

市職員を次のとおり募集します。  
 <採用予定人員> 事務職4人、技術職(土木)1人  
 <受験資格> 昭和34年4月2日～40年4月1日に生まれた者  
 <試験> 1次試験 11月7日(日)  
 会場 大野工業高等学校  
 2次試験 11月下旬  
 <受付期間> 10月5～15日  
 <申し込み方法> 申込書(市役所庶

務課にある)に縦6センチ、横4センチの写真をはって提出

### 消防職員も募集

大野地区消防組合では次のとおり職員を募集します。  
 <人員> 4人  
 <受験資格> 前記市職員と同じで身体・体力が一定基準以上の者  
 <試験日・受付期間> 前記市職員と同じ(ただし、第2次試験は12月上旬)  
 <申し込み方法> ①写真(縦6センチ、横4センチ)をはった申込書②履歴書③戸籍抄本④特別健康診断書(大野保健所発行のもの)を大野地区消防本部総務課(6-1111内線412)へ

### 市美術展の入賞者

8月13～15日の3日間、市民会館で行われた第3回市美術展には市内

外から絵画・造形、彫塑、工芸、書道、写真の5部門に143点が出品されました。

審査の結果、当市では次の方々が入賞されました。(敬称略)  
 <知事賞> 出村昭雄(絵画 泉町)  
 <市長賞> 高久昭子(絵画 城町)  
 高崎千賀子(工芸 日吉町)・浦田祥雲(書道 春日2)  
 <教育委員会賞> 山田芳恵(絵画 五条方)長瀬玉楊(同日吉町)松原秀蘭(書道 元町)長瀬玉楊(同日吉町)松田宗一(写真 矢)  
 <福井新聞社賞> 岩崎敏雄(絵画 明倫町)藤堂武(彫塑 日吉町)山田藍雪(書道 春日1)出村清(写真 中据)  
 <福井放送賞> 山田芳勝(絵画 中荒井2)大石清芳(書道 有明町)広野建史(写真 篠座町)  
 <文化協会賞> 山道きみ子(絵画 下麻生島)山田藍雪(同日 春日1)宮腰翠蘭(書道 春日)

### 中退金制度

#### もう加入してませんか

高齢化社会への対応や定年延長問題などの論議が高まる中で、退職金制度の必要性があらためて見直されてきています。

そうした中で、中小企業の中には依然として退職金制度を設けていない事業所もあります。

また、制度はあってもきちんとした定めがなく、慣行などで支払われているものや、退職時に不払いとなってしまうケースもまだ数多く見受けられます。

中小企業退職金共済制度(中退金制度)は国の制度ですから、安全であり、いざというときに退職した従業員へ確実に退職金が支払われます。

従業員が安心して働ける職場づくりを目指すため、まだ加入していない中小企業の事業主は早く加入しましょう。

詳しくは市商工観光課(6-1111内線291)へどうぞ。



### ⑤4 山王神社

山王さんという名で親しまれている日吉神社では、旧盆に御開帳大祭が行われました。御開帳は昭和24年以来33年ぶりに行われたもので、ご神体が一般に公開され、14日にはお渡りといって神が人々の中にくだられる神幸祭に始まって、15日にはもちまき、19日には子供相撲が行われました。

神幸祭では、馬上神主、馬上稚児を先頭に、雅楽、天狗、獅子、みこし、稚児行列と続き、その数は800人を超したようです。拝殿では巫女によって浦安の舞、獅子の舞が行われ、多くの参拝者でにぎわいました。

今回の御開帳を機に、拝殿の屋根を銅板ぶきにし、天井を張り替え装いも新たになりました。



駅東地区などが伸びてきたために、現在の氏子は2,300戸ぐらいだそうです。

境内は、亥山城跡になっており城は越前大野城のできる前にあったようです。城主は堀口氏政、甲斐八郎、斯波義敏、土橋景鏡、杉浦耆岐、原政茂と続きましたが、山王神社の創建は原政茂がいた天文のころといわれています。

境内には忠魂碑のほか、庚申社青面金剛像を祀る道現神社もあります。参道の右手には堀がありますが、往時は城を取り囲んでいたことでしょう。(T生)

## 乾燥機からの 火災にご注意

今年も稲の取り入れが始まり、乾燥機を使うシーズンになりました。

この時期は毎年のように、取り扱いの不注意によって火災が発生しています。

使用前には、設置場所が安全か、バーナーや電気系統に異状がないかなど、必ず点検してください。

また、燃料は火を完全に消してから補給するなど、火災の防止に努めてください。

## 心身障害者の雇用を

「広げよう障害乗り越え働く職場」のテーマのもとに、9月1～30日は「心身障害者雇用促進運動」が全国的に進められます。

昨年国際障害者年を契機として心身に障害を持つ人々に職場を確保することは、大きな課題となっています。

1人でも多くの心身障害者が働く職場を得て、社会活動の一翼を担い生きがいを感じることができるようにするために、職場の拡大に事業主の理解と協力をお願いします。

心身障害者の雇用を促進するために事業主に対して「雇用開発助成金」「雇用促進奨励金」「作業施設設置等助成金」など、各種の助成制度があります。

詳しくは大野公共職業安定所（6-2408）へお尋ねください。

## NHKの通信講座

NHK学園では、昭和57年度秋の「社会通信講座」の受講者を募集します。

### 「利用者に助成金」

乗ったらオカネくれるのかと思った

—あわて者

## 施設めぐりにどうぞ

### 多数ご参加ください

今年4月にオープンした市健康管理センターをはじめ、清掃事務所や宝慶寺いこいの森など、市内の主な施設を案内します。多数ご参加ください。



〈日時〉 9月29日（水）午前8時30分～午後5時（雨天決行）

〈対象〉 一般市民 100人

〈経費〉 100円（宝慶寺宝物殿拝観謝礼）

〈持ち物〉 水筒・雨具など（昼食は市で準備）

〈申し込み〉 9月22日（水）までに

市役所秘書広報課（6-1111内線203）へ

〈コース〉 市役所～健康管理センター～北部保育園～陽明中学校～市清掃センター～有終東小学校～奥越高原牧場～奥越青少年の森（昼食）～真名川ダム～宝慶寺～市役所

ています。

この通信講座の利点はレポートの添削が中心で、だれでも自宅にいながら自分の都合のよい時間に、自分のペースで学べるというところにあります。

講座は書道・硬筆・母と子の硬筆簿記・俳句・文章・絵画・囲碁・英語・数学・国語の11講座34コースです。どの講座も定められた期間内に学習が終了できるシステムになっており、受講者の学習の進み方に応じて調整できるように工夫されています。どなたでも受講でき、9月30日まで受け付けています。

詳しい案内書をご希望の方はNHK福井放送局（910 福井市宝永3-3-5）へどうぞ。

## 海上保安大学生の募集

海上保安庁では次のとおり海上保安大学生と海上保安学校の学生を募集しています。

〈受験資格〉 昭和34年4月2日（大学校学生は37年4月2日）以



降に生まれた者で①高等学校を卒業した者または58年3月までに卒業する見込みの者②高等専門学校の3学年を修了した者または58年3月までに修了する見込みの者③そのほか人事院が①と同等の資格があると認める者——のいずれかに該当する者

〈採用予定数〉 大学校学生 約50人  
学校学生 水路10人、燈台30人、通信20人、航海・機関・主計85人

〈試験日〉 大学校学生 1次試験11月13・14日（土・日）、2次試験58年1月26日（水）

学校学生 1次試験11月14日（日）、2次試験58年1月26日（水・木）

〈受験手続き〉 〒460 名古屋市中区三の丸2-5-1 人事院中務部事務局

# 市民カレンダー

9月10日～9月24日

<b>10</b> (金)	行政相談	13.00～15.00	上庄公民館	<b>着つけ教室にどうぞ</b> 県立大野青年の家では、次のように“着つけ教室”の受講生を募集しています。 <募集人員> 10人 <期間> 9～12月 毎週木曜日、午後6時30分～8時30分 <会場> 大野青年の家 <受講料> 月3,000円 <講師> 寺尾喜久子氏 <申し込み先> 青年の家(5-7103)	
<b>11</b> (土) 二百二十日					
<b>12</b> (日)					
<b>13</b> (月) 世界の法の日	金融相談 法律相談	13.00～16.00 13.00～16.00	商工会議所 商工会議所		
<b>14</b> (火)	交通事故相談 献 血	10.00～15.00 10.00～15.00	市役所 稲山織物		
<b>15</b> (水) 敬老の日					
<b>16</b> (木)	心配ごと相談 交通事故相談	9.00～12.00 10.00～15.00	市役所 市役所	麻しん 13.30～14.30 保健センター 3歳児検診 13.30～14.30 保健所	
<b>17</b> (金)	経営相談	13.00～16.00	商工会議所	婦人ガン検診 13.30～14.00 下庄公民館	
<b>18</b> (土)	農業結婚相談	13.00～16.00	有終会館	行政相談 13.00～16.00 有終会館	
<b>19</b> (日) 家庭の日					
<b>20</b> (月) 彼岸入 動物愛護週間	行政相談	13.00～15.00	富田公民館	労務相談 13.00～16.00 商工会議所	
<b>21</b> (火) 秋の交通安全 市民運動	社会保険年金相談	13.30～14.30	織物工業組合	1歳半児検診 13.00～14.00 保健センター	
<b>22</b> (水)	結婚相談	10.00～15.00	有終会館	愛育会検診 13.30～14.30 阪谷公民館	
<b>23</b> (木) 秋分の日					
<b>24</b> (金)					

発行 福井県大野市

編集

秘書広報課(電話 0111)

印刷 松浦印刷

朝の空気は実にはすがすがしい。しっかりと冷たく静かで透き通っている。早朝六時、こんな場末でも少年が新聞を届けてくれる。もうジョギングを終えてラジオ体操会に参加する人もある▼十五分になると準備運動をして校庭のマラソンが始まる。みんな自分のペースで走っている。大人も子供も、そして若いお母さんの姿も見える。相手より早く走るといいうのではなく、長く走る競争でもない。昨日より今日は……と自分に語りかけながら走っている▼ラジオ体操の音楽が始まると、子供たちは班長の前に一列に並び、大人たちはその囲りに集まって、リズムに合わせて体操が始まる。適度に整然としてくる。自分の運動の限界いっぱい力を込めてやっている人も多い▼市内に朝のラジオ体操の会場はいくつあったのだろうか。それぞれの会場で、状況に合わせて思い思いにやられたに違いない▼補導の係の人はたいへんご苦労さんだと思ふ。この場合学校の先生の監視の眼や叱声はかえって邪魔になる。校門を一步外へ出れば子供は地区の子供である、こういう考え方の上に、ほんとうの補導の姿があり、社会教育が生きてくる▼いよいよ二期が始まった。今年の夏は、夏らしい日が少なかったけれど、子供たちはみんな元気に登校してくれただろう。校内の補導と校外の補導とが十分にかみ合って、子供たちがみんな健やかに育つことを祈ろう。

(N生)

